

⑫実用新案公報 (Y2)

平3-16127

⑬Int. Cl. 5

G 11 B 17/26
15/68

識別記号

府内整理番号

L

6743-5D
6743-5D

⑭公告 平成3年(1991)4月8日

(全7頁)

⑬考案の名称 カセット選択装置

⑫実 願 昭59-66790

⑬公 開 昭60-180350

⑭出 願 昭59(1984)5月7日

⑮昭60(1985)11月30日

⑬考案者 松本 順次 大阪府大阪市住吉区我孫子1丁目3番9号

⑭出願人 船井電機株式会社 大阪府大東市中垣内7丁目627番地

⑮代理人 弁理士 藤原 忠治

審査官 本田 紘一

⑬参考文献 特開 昭59-38966 (JP, A) 実公 昭49-13294 (JP, Y1)

実公 昭54-4964 (JP, Y2)

1

2

⑬実用新案登録請求の範囲

カセット8を収納する複数のカセット棚4を密閉ケーシング1内で移動させるカセット昇降機構10を備え、前記カセット棚4の所定移動位置においてカセット8の出し入れを可能とする開閉ドア18を設けると共に、常時は前記ドア18を閉保持するドアロック部材30をケーシング1は設け、前記カセット棚4の特定カセット収納部9が所定移動位置に位置するとき前記ドアロック部材30のロック解除を行うロック解除板39をカセット昇降機構10は備え、前記ドアロック部材30のロック解除をカセット棚4の昇降動作でもつて行うように構成したことを特徴とするカセット選択装置。

考案の詳細な説明

(i) 産業上の利用分野

本考案は例えばVTR用テープカセットを複数巻収納した装置の中から任意の一巻をビデオデッキ側に選択して取り出すためのカセット選択装置に関するものである。

(ii) 従来技術

一般にこの種のカセット選択装置はホテル等に設置され、ホテル利用者の観賞に供されるのであるが、従来のこの種装置はメーカー側が予めVTR用テープカセットを複数巻たとえば6巻収納した状態でドアのない完全密封ケーシング内に

おさめられているので、同装置内のテープカセットとホテル利用者の手持ちのテープカセットとを入れ替えることができない。

(i) 考案が解決しようとする問題点

5 このように従来の装置では同装置外から別途のテープカセットを入れることができない点があつた。つまり、ユーザー所有のテープカセットは従来装置には挿入できないため、例えばホテル利用時に、同ホテルの利用者が手持ちのテープカセット10たとえば教育ゼミナール等のテープカセットを装着して観賞しようとしても、不可能な訳である。

(ii) 問題点を解決するための手段

従つて本考案の技術的課題は、密閉ケーシング15に開閉可能なドアを設けることにより、複数のテープカセットのうちの任意のものを一旦取り出して、この任意テープカセットのスペース空間をからにして、ホテル利用者の手持ちのテープカセットを前記スペース内に収納することにある。

20 この技術的課題を解決する本考案の技術的手段は、カセットを収納する複数のカセット棚を密閉ケーシング内に移動させるカセット昇降機構を備え、前記カセット棚の所定移動位置においてカセットの出し入れを可能とする開閉ドアを設けると共に、常時は前記ドアを閉保持するドアロック部材をケーシングは設け、前記カセット棚の特定カ

セット収納部が所定移動位置に位置するとき前記ドアロック部材のロック解除を行うロック解除板をカセット昇降機構は備え、前記ドアロック部材のロック解除をカセット棚の昇降動作でもつて行うように構成したものである。

④ 作用

この技術的手段によれば、密閉ケーシングに設けた開閉可能なドアを開成して、装置内のテープカセットとホテル利用者手持ちのテープカセットとを入れ替えることができ、また予め手持ちのテープカセットを収納するための予備スペースが設けられている時には、そのカセット収納部が所定移動位置に位置する状態のときのみ、ドアの開成を規制するドアロック部材のロック解除を自動的に行つてドアを開成し、それ以外はドアを確実にロックしてテープカセットをケーシング内に密閉保護できるものである。

⑤ 実施例

以下、本考案の一実施例を図面に基づいて詳述する。

第1図はカセット選択装置の概略正面図、第2図はその右側面図であつて、図中、1は後述するドア18の部分のみを開放した密閉ケーシング、2は基台である。

前記基台2には断面コ字状のガイド板3、3を背中合わせ状に立設している。そして、左右のガイド板3、3間には昇降可能なカセット棚4を配設している。

このカセット棚4は左右の側板5、6と、これら側板5、6間に水平に横架した棚板7…とから構成したもので、前記棚板7、7間にはカセットたとえばVTR用カセット8（第7図参照）を収納するカセット収納部9を合計6スペース形成している。

前記カセット棚4はその左右のガイド板3、3に案内されて昇降するもので、次に昇降機構（移動機構）10について説明する。

前記昇降機構10は基台2に固定した可逆回転可能な原動機ユニット11と、4つのスプロケット12、13、14、15と、前記カセット棚

4の上下両端中央部にその先端を連結し、かつ中途部分を前記各スプロケット12～15に噛み合わせたチェーン16とから構成したもので、この昇降機構10によつて前記カセット棚4を上昇、下降させるのである。

ところで、前記ガイド板3の正面側の折曲部3a中央部分にはドアブラケット17、17をビス止めして、これら左右のドアブラケット17、17間にドア18を開閉可能に横架している。

10 すなわち、第3図乃至第5図に明瞭に示す如くドア18の両端（第3図乃至第5図においては図示の便宜上ドア18の右側部分の構造のみを図示しているが、左側部分は右側部分とほど左右対称の構造になつていて）にドア支軸19、19を突設し、この支軸19を前記ドアブラケット17の逆L字状の溝20（第5図参照）の溝底部に載置し、ドアブラケット17にビス止めした三角板22で、その抜け止めをすることによつて、前記ドアブラケット17、17間にドア18を開閉可能に横架したものである。

ここで、前記ドア18はカセット棚4の最低部のカセット収納部9と対向（その理由については後述）する部分に配設したものである。

また、前記ドア18と対向するガイド板3、3の背面側には第2図に示す如く演奏装置たとえばビデオテープレコーダ（以下単にVTRと称す）23を配設し、このVTR23を支持台24で支持している。

一方、前記ドア18の配設部位と対応するガイド板3にはビーム25…を介して架台26を水平に取り付けていて、この架台26上にはカセット収納部9内のカセット8をVTR23側へ移行したり或いは開成させたドア18からカセット8を排出するためのカセット挿入排出機構27を配設している。

次に第3図乃至第5図を参照して、前記ドア18をロックしたり或いはそのロックを解除するためのドアロック解除機構の具体的構成について説明する。

前記ガイド板3における正面側折曲部3aのドアブラケット17取付位置よりも下部内方にはL字板28をビス止めし、このL字板28に中心軸29を突設すると共に、該中心軸29にドアロックレバー30を可回動に枢着している。

このドアロツクレバー30は第4図および第5図から明らかな如く、その先端にロツク片31を、また後端にガイドピン32をそれぞれ一体的に形成したもので、第5図に示すノーマルな状態下においては前記ロツク片31によってドア18の開成（第5図における反時計方向への回動）をロツクするものである。

また、前記中心軸29にはドア牽引アーム33を枢着し、該アーム33の先端に固定した係止ピン34を、ドア18両端折曲部に形成した鉤片18aに係止すると共に、前記ドア牽引アーム33の突片33a（第3図においては図示の都合上省略）と、ガイド板3側に取り付けた第1ソレノイド35のプランジャ36との間にロッド37を張架し、前記第1ソレノイド35が昇降機構10の停止を検知した時に、同ソレノイド35を励磁し、そのプランジャ36を吸引してロッド37を介して前記ドア牽引アーム33を第5図の時計方向へ回動すべく構成し、第5図に示すノーマルな状態下においては前記係止ピン34によってドア18の逆開成（第5図におけるドア18の時計方向への回動）をロツクするようになっている。

さらに、前記カセット棚4における左右の側板5、6の最低部のカセット収納部9対応位置には、曲面部38を上端に備えたロツク解除板39をビス止めしている。

そして、前記カセット棚4の上昇によって、最低部のカセット収納部9が前記ドア18と対向した時に、このロツク解除板39の曲面部38によつてドアロツクレバー30のガイドピン32を移行させながら、同レバー30を第5図の時計方向へ回動させて、該ドアロツクレバー30によるドア18ロツクを解除すべく成したものである。

図示実施例は上記の如く構成するものにして、以下作用を説明する。

第1図における6つのカセット収納部9…に予めメーカー側（もしくはホテル側）において選択した6巻のVTR用テープカセットが収納され、ホテル利用者が最下段のカセット収納部9内のカセットと、同利用者の手持ちのカセットとを入れ替えて観賞する際には、第1図の状態から図示しないカセット棚上昇スイッチをオンにして昇降機構10を駆動する。

昇降機構10を駆動すると、そのチェーン16

の移動によつて、カセット棚4は上昇し、最下段のカセット収納部9が前記ドア18の位置に対向すると、図示しないマイクロスイッチ等の周知手段によつて昇降機構10の上昇は自動停止する。

このとき、カセット棚4と共にロツク解除板39が上昇・停止して第6図の如くなる。すなわち、第5図のノーマルな状態から第6図の如くロツク解除板39が上昇すると、同板39の曲面部38で、ドアロツクレバー30のガイドピン32を第5図の位置から順次時計方向へ回動させて、該ドアロツクレバー30を中心軸29を支点として時計方向へ回転させ第6図の如く成して、このドアロツクレバー30によるドア18のロツクを解除する。

また、昇降機構10の停止を検知（この検知は周知手段によつて行なうことができる。）した信号が第1ソレノイド35に印加されるので、同ソレノイド35が励磁されて第6図の状態から第7図の状態になる。

すなわち、前記ソレノイド35が励磁されると、そのプランジャ36が吸引され、ロッド37を介してドア牽引アーム33を中心軸29を支点として時計方向へ牽引するので、このアーム33先端の係止ピン34がドア18の鉤片18aを引

つかけた状態で、該ドア18を支軸19を支点として第6図の状態から第7図の如く反時計方向へ回動させて、ドア18を開成するのである。

ドア18の開成後、最下段のカセット収納部9内のカセットを一旦取り出すにはカセット挿入排出機構27を駆動して行なうのであるが、前記最下段のカセット収納部9を予め空にしておいて、ホテル利用者がその手持ちのカセットを装着できる如く、同収納部9を手持ちカセット装着用の空スペースにしておく場合にはその必要はない。

かくして、最下段のカセット収納部9を空にすると、開成されているドア18の部分から第7図に示す如くホテル利用者はその手持ちのカセット8を同図の矢印方向へ装着し、VTR23により、同カセット8の収録内容を観賞することができる

のである。

なお、この実施例においてはロツク解除板39を最下段のカセット収納部9対応位置に設けて、最下段のカセット収納部9のみを手持ちのカセットの装着空間と成しているが、前記ロツク解除板

3 9は最下段以外の他の部位に取り付けてもよいことは言うまでもない。

(ト) 考案の効果

以上実施例からも明らかなように本考案は、カセット8を収納する複数のカセット棚4を密閉ケーシング1内で移動させるカセット昇降機構10を備え、前記カセット棚4の所定移動位置においてカセット8の出し入れを可能とする開閉ドア18を設けると共に、常時は前記ドア18を閉保持するドアロック部材30をケーシング1は設け、前記カセット棚4の特定カセット収納部9が所定移動位置に位置するとき前記ドアロック部材30のロック解除を行うロック解除板39をカセット昇降機構10は備え、前記ドアロック部材30のロック解除をカセット棚4の昇降動作でもつて行うものであるから、カセット棚4の例えば最下段の特定カセット収納部9に、外部からのカセット（例えばホテル利用者の手持ちのカセット）の装着が可能にできるもので、この場合外部からのカ

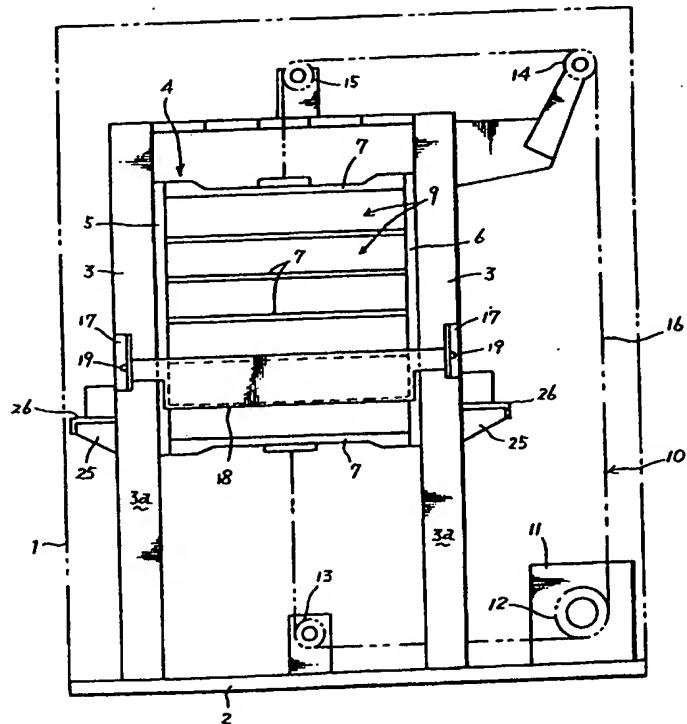
セット8を装着可能とするケーシング1の所定動移動位置に、カセット棚4の特定カセット収納部9が位置する状態下のみ、ドアロック部材30のロック解除を自動的に行つてドア18を開成し、それ以外は確実にドア18をロック状態としてケーシング1内にカセット8を安全確実に収納保持して、カセットの安全保護とこの演奏装置の対応性の拡大が図れるなど顯著な効果を奏する。

図面の簡単な説明

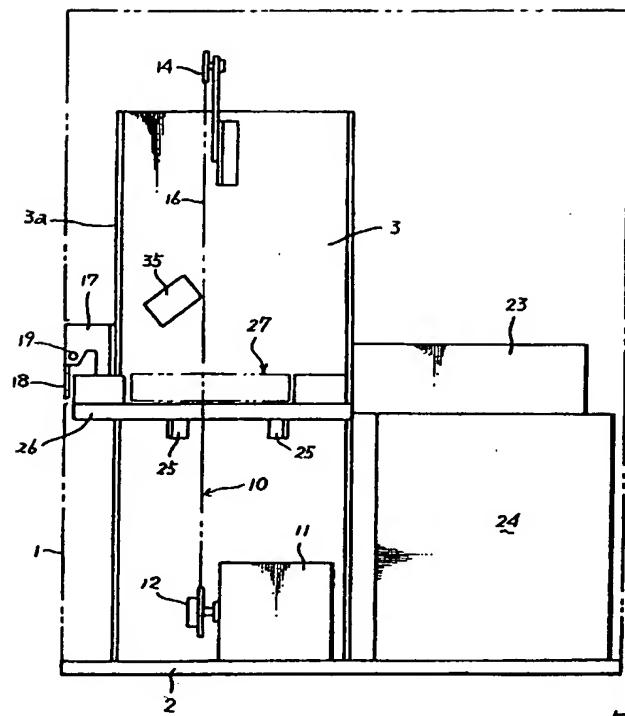
10 図面は本考案の一実施例を示し、第1図はカセット選択装置の概略正面図、第2図はその右側面図、第3図はドア18とその関連構造を示す正面図、第4図は第3図の平面図、第5図は第3図の右側面図、第6図々および第7図はドア18のロツク解除を説明するための側面図である。

1…密閉ケーシング、4…カセット棚、8…カセット、9…カセット収納部、10…移動機構、18…ドア。

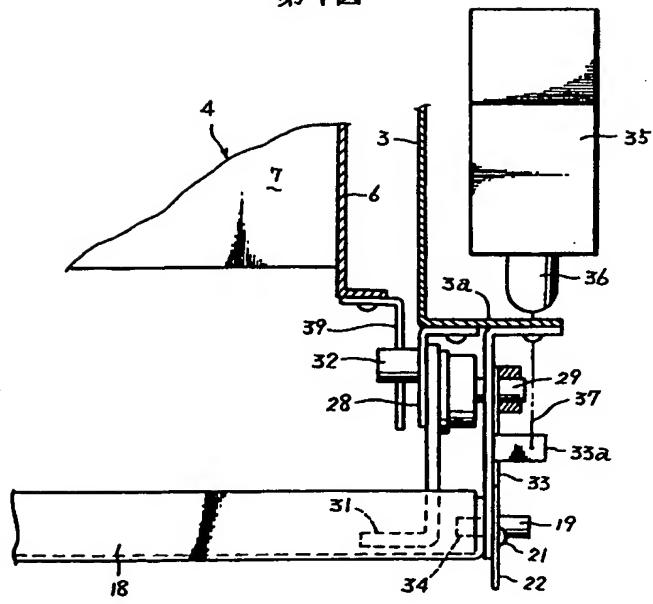
第1図



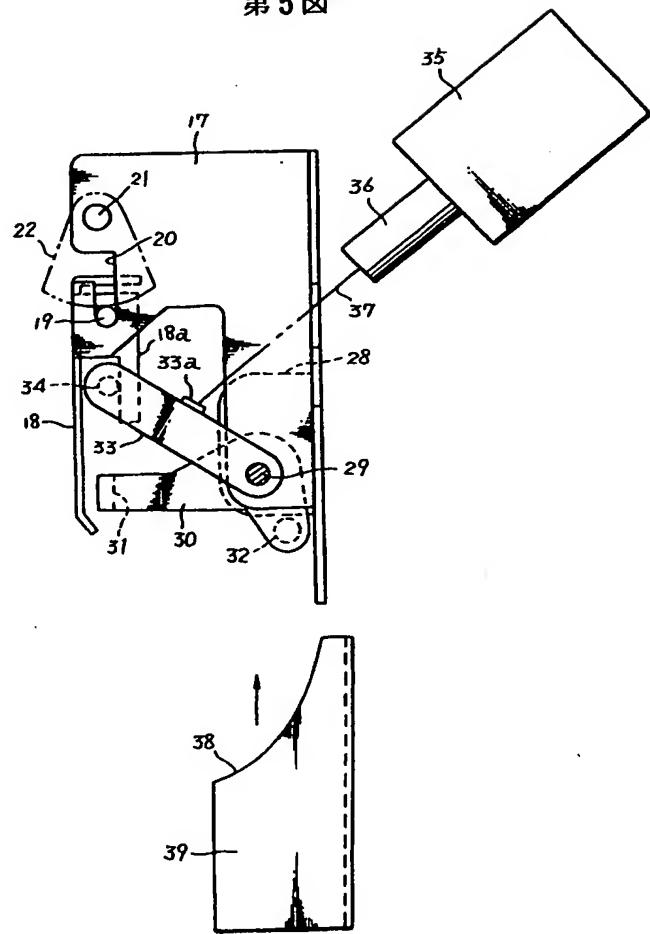
第2図



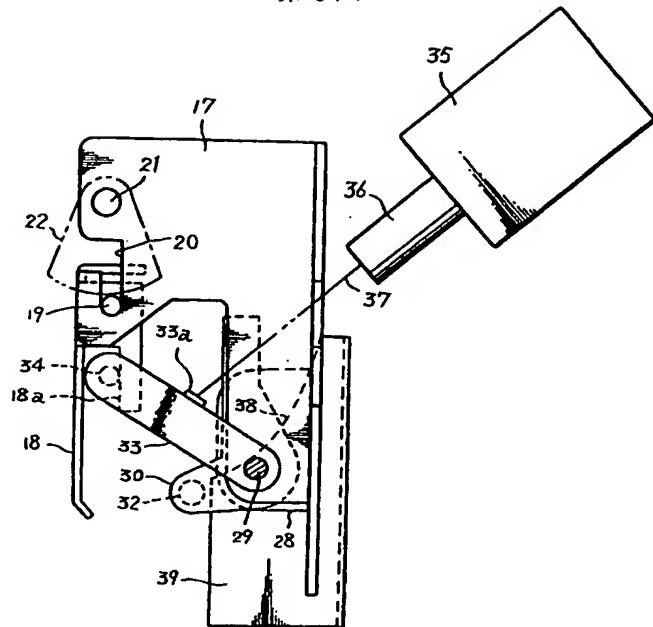
第4図



第5図



第6図



第7図

